

5162 **くらく**久楽の世界の旅：心模様・砂に描いた、誓いの落書き

道草、割り込みご容赦。多分、オーストラリア大陸とニュージーランド？

下記は、「地球は、丸かった」との印象を持った瞬間だった。

砂に書くというより、足跡をつけないように、乾いた砂を、何度も運んだのを記憶している。

こんな瞬間は、二度と出会えないと思った次第。大げさだが、

同時に、**くらく げーぶる**久楽迎古という雅号にて、最後まで頑張るといふ、大地への誓い。



今、コロナ問題で、お互い、大変な状況。日常の大切さ。最大限の注意を払って、

何しろ、久楽自身も、**病気になれない状況下**にある。

久楽の世界ひとり旅、大変なことがいっぱいあった。いいことだけ、思い出す、心の訓練。

実に身勝手な所業と自覚。上記画像は、現実だが、夢の世界。

下記は、ニュージーランド、北島。風が強い、**ウエリントン**だったと思う。

前方に見えるのは、**タラナキ山？ NZの富士山。**

カナリア諸島のテネリフェ島の活火山・テイデ火山、標高 3.715m。富士山 3.776m。

またまた、心模様の道草。山岡鉄舟の言葉。

「晴れてよし 曇りてもよし 富士の山 もとの姿はかわらざりけり」

話を、もとに戻して、下記も、時間をかけて、貝を拾い、楽しんだ思い出は、心の財産。

無心とは言わないが、夢中になって、雅号への誓いを、**貝殻**にて描いた。

大切なのは、過去ではない。未来に続く今が大切。今の状況は、できることしかできないが、

キーワードは、自律に自立。油断大敵、DIY 生活。我慢、等々を再確認。

知っていることと実践は違う。心して頑張りたい。



こうしたことを書くのは、自分への鼓舞と、背水の陣。

コロナ終息後の状況も大変だと思う。

お互い、気持ちを強く、頑張りたいもの。未来は創れると、信じたい。